

看護実践・キャリア 支援センター通信

2016年

Vol.8

4. 地域貢献研修

「エンド・オブ・ライフ・ケア看護師教育プログラム研修」

奈良県での開催が2回目となる ELNEC-J 研修が平成 28 年 7 月 23 日・24 日に行われました。エンド・オブ・ライフ・ケアとは、「病いや老いなどにより、人が人生を終える時に必要とされるケア」とされています。ELNEC-J コアカリキュラムによる 10 モジュールで構成された講義・演習に、附属病院と地域の看護師 28 名が参加されました。ケーススタディでは、“エンド・オブ・ライフにある患者の‘その人らしさ’を支えるには”というテーマでグループワークを行いました。参加者からは、「ロールプレイを通して、患者さんの立場になって、安心と感じるコミュニケーションを感じた。」、「その人のこれまでの人生を大切に、最期を一人の人として尊厳をもってケアを行っていくことを学んだ。」、「具体的に目標設定することで日々のケアへの意識や行動が変わるんだなと思いました。」等の感想をいただきました。



4. 地域貢献研修

「がん看護」研修

「がん看護共通」・「意思決定支援」・「家族看護」・「がん放射線療法」
「抗がん剤の安全・確実な投与管理」・「がん化学療法～副作用とその対策～」

5 回シリーズのうち 3 回が行われました。開催された研修項目は示した通りです。多岐にわたったテーマで講義をいただき、研修生からは好評を博しています。一部のご意見を紹介します。「患者・家族への関わり方、また緩和ケアの考え方のたくさんの気づきをもらえました。」「がんに対する基本的な知識や意思決定という学ぶ機会の少ない内容について学ぶことができ、今後の看護に役立つと思った。」「放射線治療について、より深い説明で治療、看護の観点が良くわかりました。」「がん化学療法という病棟看護師にとって身近な事について学ぶ事ができてすごく勉強になった。」等です。

この研修が、ますます患者様や看護職の皆様の皆様の役にたてれば幸いです。



“奈良医大附属病院での研修を終えて”

チェンマイ大学附属病院看護師さんからのレポート

Training evaluation for nurses from Chiang Mai University Hospital in 2016

We were very impressed by the effort of everybody and nurse preparing this program. We were appreciated the attention and the expert physicians, nurse providing knowledge and experience for us. The clinical department introductions were helpful. We studied them before coming to Japan. We have learnt many things as follows:

1) Organization and educational system of Nursing Division Hospital guidance

- Nursing system: Fixed team nursing and system of duty
- System of educational support in each division such as preceptor ship
- The training according to the ladder
- The responsibility and discipline of nursing staff (no smartphone at work time)

2) Clinical Safety Promotive Section

- Basic policy and Safety Promotive Section activities
- The incident report system , Manual for reporting medical accidents
- We shared safety lessons in order to *learn* from *incidents* occurred(the fall incident)
- learning strategies and Tools that Enhance Performance and Patient Safety.

It is an evidence-based set of teamwork tools, aimed at optimizing patient outcomes by improving communication and teamwork skills among health care professionals. It includes a comprehensive set of ready-to-use materials and a training curriculum to successfully integrate teamwork principles into any health care system.

- Quality and safety walk-rounds. They provided a formal process for members of the executive/senior management team/members of the board to talk with staff about safety issues in their unit or team and show their support of staff for reporting errors/near misses.

3) Wards/ Outpatient department

During two week program at the Nara Medical University Hospital, we could understand more about patient center care through the health care team. The personnel respect the patient and their families sincerely. Everyone was polite and being professional work in providing information. They would have to ask permission every time when they wanted to do any activities to patients. They didn't expose the patients, moreover they provided care with professional manner. It was the policy of NARA medical university that respect the individual rights of all person that come to this facility for care. We were very impressed and expanded this story to the personnel at the CMU hospital.

And we had a good time to visit Department of Radiation Oncology and Nuclear Medicine, Psychiatric Institute, Palliative Care Center, Department of Pain Medicine and Diabetic Center.

This program was provided us with the valuable experiences that included learn about high technology, advance treatment, humanized and holistic care for the patients and their family, effective team work, high discipline and responsibility of nursing staff. Nara medical university had a good environment, cleanness and safety. A positive work environment made employees feel good for coming to work, and this provides the motivation to sustain them throughout the day. *We were very nice to visit* Nara Nursing Association and understood more about their role and continuing education system for nurses in Japan. We could see the whole nursing care system in Japan by visiting the elderly facilities and nursing home service.

In our opinion, this program is very beneficial for both nursing staff and the patients. This program gave us to see transcultural nursing care clearly. When we had seen the nursing care in different social, cultural, medical and nursing system, it help us to understand more about our nursing care system and what need for improvement. We are sorry if we unknowingly did something wrong which has annoyed you. We apologize.

Best regards,

Ueangthip khampan , Nopphamat Utama

2016年 チェンマイ大学病院からの看護師研修の評価

私たちは、このプログラムを準備して下さった、看護師を含めみなさんの労力にとっても感銘しました。私たちのために、専門分野の医師や看護師が知識と経験を提供してくれたことに感謝しています。事前の病棟の紹介については、とても有益でした。私たちは、日本に来る前に、それらを学ぶことができました。私たちが学んだ多くの事柄について、下記に示します。

1) 病院看護部の組織と教育システムについてのガイダンス

- －看護システム：固定チームナーシング とシステムの役割
- －各科におけるプリセプターシップのような教育支援体制
- －ラダー別研修
- －看護職員の責任と規律（業務時間にスマートフォンを使用しない）

2) 医療安全推進室

- －基本理念と医療安全推進室の活動
- －インシデントレポートシステム、医療事故の報告マニュアル
- －私たちは、転倒のインシデント事例から学ぶために、安全レッスンを共有しました。
- －患者の安全と行動を拡大するためのツールとストラテジーを学びました。
- －医療従事者間のコミュニケーションとチームワークのスキルを向上させることにより、理想的な状況を患者に還元することを

目的とした、根拠に基づいたチームワークという方法です。それは、簡単に使用できる方法と、どのヘルスケアシステムへも

チームワークの原則を上手く統合させるためのトレーニングカリキュラムが包括的に含まれています。

- －医療安全と質保障のためのラウンド

奈良医大では、管理職のメンバーが病棟やチーム内での安全問題についてスタッフと話し合えるように公式な手順があります。

また、スタッフが間違いやニアミスを報告しやすいようにサポートすることについても示しています。病棟やチームの安全マニ

ュアル検討委員会や、インシデント報告のスタッフサポート委員会の様な、幹部/経験者による管理者チームメンバーの公式な

手順を提示してくれました。

3) 病棟/外来診療部門

奈良県立医科大学附属病院での2週間のプログラムの中、私たちは、ヘルスケアチームを通して、患者中心のケアについてより多くのことが理解できました。職員は、患者とその家族を心から尊重しています。皆が、情報を提供し合いながら、礼儀正しく、専門職者として仕事をしていました。彼らは、患者にケアを行う時には、その都度声をかけて承諾を得るようにしており、患者のプライバシーを守ってケアを行っていました。さらに専門職業人としてのマナーをもってケアを実践していました。それは、この施設に来る全ての人々の個人の権利を尊重するという奈良医大の理念でした。私たちは、このことに感銘を受け、チェンマイ大学病院のスタッフたちにこのことを報告しました。そして、私たちは腫瘍センターと核医学科、精神医療センター、緩和ケアセンター、麻酔科、糖尿病センターを訪問し、とても有意義な時間を過ごしました。

このプログラムによって、私たちは、高度な技術や先進的な治療、患者や家族への人間的で全人的なケア、効果的なチームワーク、看護スタッフの規律正しさと責任感について学ぶことができ、貴重な体験となりました。奈良県立医科大学は、清潔で安全なとても環境のよい病院でした。前向きな労働環境によって、スタッフたちは気持ちよく仕事にすることができ、モチベーションを保ち続けることができます。私たちは、奈良県看護協会を訪問し、日本における看護師の継続教育システムや看護協会の役割をより理解でき、とてもよかったです。

私たちは、老人福祉施設や訪問看護サービスを訪問し、日本における看護ケアの全体像を見ることができました。私たちの意見ですが、このプログラムは、看護スタッフと患者の双方にとって有益なものだと思います。このプログラムによって、異文化の看護ケアを明確に知ることができました。私たちは、異なる社会や異なる文化、異なる医療と看護システムでの看護ケアを見た時に、私たちの看護ケアを発展させるために何が必要かを考え、より多くのことを理解することができました。私たちが、気づかずにご迷惑をかけていたことがあったとしたら、申し訳ありません。お詫びを申し上げます。

敬具



この研修にご協力いただいた関係各位には心よりお礼申し上げます。

今後開催予定の研修等について

1. 看護基礎教育 キャリアデザインプログラム「秋山先生講演会」
演題名：「看護の専門性を求めて ～私が描くキャリアデザイン～」
日時：平成28年11月30日(水) 17:30～19:00
場所：大講堂
2. 看護基礎教育 実習指導者研修会
日時：平成28年12月7日(水) 14:00～16:00
場所：スキルラボ棟研修室3階 研修室1
3. 看護実践教育 「対人援助の基礎知識・技術ベーシックコース」研修
日時：平成28年12月1日(木)から
場所：看護学科棟1階 第2合同講義室
4. 地域貢献 「がん看護」研修
日時：第4回 平成28年12月10日(土) 10:00～16:00
第5回 平成29年1月21日(土) 10:00～16:00
場所：看護学科棟1階 第2合同講義室
5. 地域貢献 「明日から使える褥瘡予防・治療の知識と技術」研修
日時：平成29年2月4日(土) 10:00～15:00
(参加希望者が多い場合3月4日(土)にも開催)
場所：スキルスラボ棟2階 スキルスラボ
募集期間：12月5日(月)～12月16日(金)
褥瘡発生要因に対するケア方法、局所処置方法などについて、演習を通して具体的な技術を学びます。
6. 3年生と看護部スタッフとの懇親会
日時：平成29年2月24日 17:15～18:30
場所：レストランROYAL

ヨガの効能

門脇 正次先生にヨガの効能について語っていただきました。

身心のリラックスと神経組織が自由に活動することにより体調が回復するのは内なる自然治癒力の賜物です。心の苦痛を感じている時は苦痛を感じている体のどこかです。体の緊張、不快感、苦痛を直接ゆるめると心は急に楽になります。そして、心にゆとりが生まれ体が痛む毎に体を楽にすることを繰り返していると体が生き生き動き心も強くなっていきます。

感謝合掌

*ヨガは毎週月曜18時15分から19時45分まで、スキルスラボ棟2階スキルスラボで行っています。
みなさまの参加をお待ちしています。